

令和7年度

第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和7年度第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和7年8月22日（金）

開会 午後2時00分

閉会 午後3時40分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	高 田 稔
教育長職務代理者	細 川 敬 雄
委 員	森 本 匡 史
委 員	森 文 彦
委 員	曾 川 京 子
委 員	吉 原 美 穂

4 会議出席者

教 育 部 長	小 松 隆
教 育 次 長	三 宅 剛
教育次長兼教育総務課長	板 東 毅
学 校 教 育 課 長	井 内 徹
社 会 教 育 課 長	藤 原 洋 文
学校給食センター所長	石原 かおり
（書記）教育総務課課長補佐	笠 井 まゆみ

5 議題

- （1） 令和6年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について
- （2） 阿波市地域クラブ活動指導者に関する要綱の制定について
- （3） 阿波市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱の改正について
- （4） 令和7年度阿波市一般会計補正予算（第5号）教育委員会所管部分について
- （5） 準要保護の認定について

会議の大要は、次のとおり。

【高田教育長】 定例会を開催する旨を告げる。

前回会議録の承認について

【高田教育長】 前回会議録の承認について何かご意見ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 それでは承認いたします。

教育長の報告について

【高田教育長】 7月28日から8月22日までの、主だった教育委員会行事について報告。
何かご質問はございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 報告を終わり、議事に進みたいと思います。

議案第1号 「令和6年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」事務局より説明をお願いします。

【小松教育部長】 議案第1号「令和6年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」説明。

【高田教育長】 事前に送らせていただいていると思います。

毎年、この報告書につきまして、ご質問またはご意見等をいただいております。

順番にお願いしてもよろしいでしょうか。どうぞよろしく申し上げます。

〈質 疑〉

【細川委員】

令和3年度からスタートした「阿波市第2次教育振興計画（前期計画）は、令和6年度で4年が経過しました。令和5年度の74事業から削除、集約して68事業についてPDCAサイクルで評価し、課題や今後の方針を示して丁寧な事業の評価ができていたと感じました。68事業のうち、総合評価でA評価が15、B評価が53、C、D評価はなしとなっています。A評価が事業数は減っているのに2つ増えて教育委員会の真摯な取組で成果が上がっていると思います。順番に、お聞きしたい部分がありますので、よろしく申し上げます。

5 ページ。令和 6 年度から始まった事業として「通学用かばん等購入支援給付金事業」が新しく始まりました。令和 7 年度になって、ランドセル配付に向け準備を進めていただいていると思いますが、現在どのような状況でしょうか。計画どおり、進んでいるのでしょうか。

【井内学校教育課長】

現在、168 人の対象者がいるのですが、そのうち 166 人から申込をいただいております。率といたしまして 98.8%です。

【細川委員】 子どもたちが喜んでいてと思いますので、よろしくお祈いします。

12 ページ。健やかな体の育成ということで、中学校の部活動での地域移行が進められています。部活動指導員が昨年度の 3 人から 6 人へと増えています。どこの学校で増えたのが教えていただけますでしょうか。

【井内学校教育課長】 土成中学校が 1 人増えて、吉野中学校が 2 人増えております。

【細川委員】 13 ページ。ダブレットの更新については、6 年度から準備を進めていただき、この夏休み明けの 2 学期から新しい端末が使えるように聞いております。予定通り進んでいるということですのでよろしいでしょうか。

【三宅教育次長】 予定通り進んでおります。

【細川委員】 わかりました。10 月の学校訪問で見せていただけるということで、楽しみにしています。14 ページ。働き方改革の推進のところですが、授業の実績状況ということで、教員の勤務時間の可視化という部分で、教員の働き改革の部分は見にくいかなと思いますが、国や県の制度を積極的に取り入れてくれたり、阿波市として英語教師や学力向上推進講師を配置してくれるなど努力をいただいております。ありがたく思います。先生方が元気で子どもたちの指導に取り組めるよう今後とも色々な施策の継続と支援をよろしくお祈いします。

16 ページ。給食センターの取組として、AWA産OUR消MYメニューコンクールも定着し、100 点以上応募が増えています。受賞作品が給食やアエルワ食堂のメニューになり地域野菜への理解が深まると思います。地産地消率も 60%台で目標の 65%に近い数字が出ています。物価高騰でメニュー作りも大変だと思いますがよろしくお祈いします。

23 ページ。教育支援センターの運営についてですが、デリケートな部分もあると思いますが、教育支援センターの利用状況や ICTでの支援について、教えていた

だけたらと思います。

【井内学校教育課長】小学生3名、中学生18名、計21名の方が、利用されております。今年度は8月現在で、小学生1名、中学生13名の計14名です。

【細川委員】割と利用が高くて、特に中学生の方が利用できているんですね。ICTで情報交換しているところはどこですか。

【三宅教育次長】ICTの環境は、整っておりますが、今のところは、難しい面もあると思います。

【細川委員】できるだけ、利用が増えるような形でよろしくをお願いします。
27ページ、帰国・外国人児童生徒への支援について。日本語教育を10名の方が受けられているということで、令和5年は3名だったのが10名に増えているということで、毎年増えていくような方向にあると思うんですけども、県に言えば、利用しやすくなったりするのですか。

【井内学校教育課長】これは、県の事業で、時間数が1年目と2年目で決まっております。それに応じた補助金をいただける形だったと思います。

【細川委員】中学生、小学生、どちらが多いんですか。

【井内学校教育課長】令和6年度は小学生が7名、中学生が3名おられました。今年度につきましても、小学生が6名、中学生が4名の計10名です。

【細川委員】
学校も何校かばらつきがあるのですか。
1校に偏っているというのではないですか。

【井内学校教育課長】そうですね。
一条小5名、林小2名、吉野中、土成中、阿波中が各1名となっています。

【細川委員】また、今後も増えてくのではないかなと思いますので、支援の方よろしくお願ひできたらと思います。29ページ、防災教育の充実について。避難場所としての体育館へのクーラーの設置がニュースや新聞等で取り上げられています。また、32ページの学校の施設工事や33ページの施設のバリアフリー化の多目的トイ

レの設置など計画的に考えていただけたらと思いますが、どうでしょうか。

【小松教育部長】体育館へのクーラー設置については、今年度調査をしております。どの学校にはどのようなものを設置したらいいか、電気、ガス、灯油とかあるんですが、最適なものを選んで、すべての小中学校の体育館に設置をするということで、進めています。国の方からは10年間で、全国で95%の設置を目指すということで進めております。

【細川委員】体育館にクーラーができるという方向で進んでいるということでもわかりました。今日のお昼のニュースを見ていたら、上板町が体育館で、避難訓練をしていたんですが、参加されてる方が汗びっしょりになって、非常に暑いってことをおっしゃってたんで、夏に体育館に避難する場合は、必要なんだなと思いましたので、どうぞ是非ともよろしく願いいたします。

38 ページ、図書館機能の充実について。阿波図書館の工事も終わって、利用人数も7千人ほど目標値を超えています。各図書館で色々な取組が行われている成果だと思います。社会教育については、公民館、アエルワでの市民講座でも新しい講座や内容の変更など、進められていると思いました。スポーツ振興については、参加者の増加や回数も増加しています。49 ページの事業実績状況で市内中学校部活動合宿2件とありますが、これはどこの施設を使用したのでしょうか。50 ページの競技力向上支援事業については、徳島駅伝では過去最高の順位でした。各スポーツ団体や小中学校の指導、徳島駅伝関係者の地道な取組や連携が実を結んだのではないかと思います。

【藤原社会教育課長】市内部活動合宿については、市場の武道館で、阿波中学校の柔道部が主催となって県外のチームを招いて合同の練習をしております。

【細川委員】わかりました。いろんなことで、呼び込んでいただいているんですね。

【藤原社会教育課長】柔道の先生は交流やネットワークを持っております。また、市場武道館は畳の面が2面ありますので、多くの選手が来て一緒に練習できるというメリットもあります。

【細川委員】わかりました。

71 ページの子ども会活動の充実。児童数が減少してきたことと、更にコロナ禍で活動が自粛されたこと、また猛暑で夏休みの行事もしにくくなったことなどで、

子ども会活動が難しくなって来ていると感じます。何かできる方法で、地域のつながりが生まれるような形で子ども会の行事ができればなと思っています。最後になりますけど、業績評価指標一覧について、お願いします。学校教育に対する満足度で小学校、中学校の保護者とも85%を超え、各学校の取組や教育委員会の事業等が信頼されているという結果だと思います。肥満傾向の児童の割合については、体質もあったり、コロナ禍での行動制限や異常気象などの影響ですぐには改善は難しいとは思いますが、学校と色々な機関が連携して子どもと保護者への働きかけを今後とも続けていただけたらと思います。「学び合う、深め合う、高め合う 阿波市教育」実現のため、どの事業も計画に従って地道に取り組んで評価を上げていることがわかりました。以上です。

ありがとうございました。

【森本委員】18 ページ、読書活動の推進。私の子どものことで大変恐縮なんですけど、文章の理解、読解力というのが、ものすごく落ちてるんだっていうのをすごく感じます。タブレットや携帯の内容を見てしまっているっていうのが大きいと思うんですけど、読書量が絶対的に足りていないと常々思っております。学校の図書館に本があって、たまに借りて帰ってきたりはするんですけど、学校の授業とかの中で、読書の授業があるとか、そういう読書の時間はあるんでしょうか。このシートには、学校図書室の利用頻度が多い生徒を表彰しているという事ですけど、実際授業中に先生が、もっと本を読みなさいよとかっていう、実際の時間を取ってるっていうケースはあるんでしょうか。

【三宅教育次長】各学校で、取組の軽重はありますが、例えば、朝読書という形で、時間をとってやっている学校はあると思います。

【森本委員】例えば、社説とか。新聞の記事を読んで、これにはどんなことが書いてあるのかを、端的にまとめましょうという時間もあつたような記憶あるんですけど。そういうのが、最近の子どもには足りてないんじゃないかなって常々思っているんで、読書活動の推進については、引き続きぜひお願いしたいと思います。次に、23 ページ。教育支援センターの運営というところで、実際去年、見学させていただいて、非常に皆さん、専門家のご意見とか、人的パワーとか、そういうのも含めて、すごいよかったなあと思っているので、これBっていうのは、なかなかAがつけづらいっていう感じだと思うんですけど、これも引き続き、困っている子に、手が届くようにお願いしたいなあと思いました。それと29 ページ、防災教育の充実。これもエアコンの事と一緒に伺いしようと思ったんですけど、部長の方から、ご回答いただきましたので、防災教

育については、いつ起こってもおかしくないもので、ここも引き続き、力を入れて、実際どう動くのかとか、そういう経路、動き方を含めて、実際子どもが動けるように、力を入れていただきたいなと思います。それと 31 ページ、連携強化の取組なんですけど。これ小中高連携って書いてあるんですが、例えば高校とかだったら学区制が廃止になっていたり、ますます市内の中・高生の人員確保ってところが難しくなってくる可能性もあるんで、ここで書いてあるのは阿波西との中高連携っていうとこなんですけど、これは阿波高は入ってこないんですか。特に今のところ考えてらっしゃらないですかね。

【高田教育長】 阿波西高校は、連携型一貫校です。川島中学校や城ノ内中学校は併設型一貫校で違うスタイルになります。阿波中学校と市場中学校の先生が、週に 2、3 時間ぐらい、ある特定の教科の指導に行っています。

【森本委員】 高校からしたら優秀な人材をとりたいて、学区制が廃止になって、どんどん優秀な子が、市内に流れてしまうとか、そういう話もあるので、高校からしたら、うちの学校ではこんな事をやっていますよとか、こんな魅力があるんですよっていうのが、言いたいのかなっていうふうに思いまして、質問と疑問を確認させていただきました。

やっぱり連携したら連携しただけ、学区制にとってのメリットがあると思いますし、デメリットはないと思います。また、先生のメリットもあると思うので、ここもできれば幅広く、やっていただければありがたいかなっていうふうに思います。

それと、69 ページ、青少年の居場所づくりの推進。唯一の休止、廃止だったと思います。これは、もちろん費用対効果や人的パワーも限られていると思うので、十分なんですけど。76 ページ、国際交流の推進。これに対してなんですけど、中国語講座について、開催 9 回で参加者 10 人なんですけど。こういうのを、休止、廃止の検討はなかったんですか。

【藤原社会教育課長】 生涯学習の講座につきましては、24 講座の中の 1 つに中国語講座があるんですけど、利用者のアンケートとかもいただきまして、募集定員があるのですが、定員の半分を切るような人数ではなかったかと思えます。これは、延べ人数ではなくで、1 回の講座で募集人数が多分、14 人でなかったかなと。

【森本委員】 開催 9 回で、1 回に、約 10 名参加されているということで、よろしいですか。

【藤原社会教育課長】そういうことです。

【森本委員】9回で10人の参加であったら、検討した方がいいのではと思いますので。こういうの見直してというのもやっぱり必要だと思いましたので、廃止も十分あり得るのかなと。後は、見させていただいて、A評価、B評価がほとんどだったので、丁寧にやっていたってなっている印象が非常に見えました。引き続き、ご苦勞ですけれども、よろしく願いいたします。以上です。

【森委員】資料が細やかにできているので、これだけ丁寧に施策を実施していただいているということに感謝したいと思いながら見させていただきました。感想が中心になるんですが、よろしく願いします。

1-1の生きる力の育成を重視した教育内容の充実については、12項目中8項目は、Aで成果を上げ続けているというのが、本当によくわかりました。一番後ろの評価指標一覧でも、英語が好きな児童が、目標値を達成していたり、ICTを活用した授業時数も、増加しています。

こういうことが、保護者の学校教育に対する満足度に繋がって、目標値を超えているということに、繋がっているんだなと感じました。

12ページの、健やかな体の育成に関してですが、先ほどもお話ありましたが、達成度が2で総合評価がBになっていることについて、肥満傾向の児童の割合について、触れておられるんですが、成果指標で、令和2年度の数値と現在までの数値の変化を考えていくと、生活習慣だけでなく、夏に運動ができないというような、環境の変化も、大きな影響を及ぼしていくのではないかなあというふうに、思いました。

それから、16ページの、食育、地産地消の推進では、本当にこの異常気象の中でも、60.4%を達成したという努力は、素晴らしいんじゃないかなと感じています。27ページの帰国外国人児童生徒への支援ですが、これも先ほどお話ありましたが令和4年、令和5年が3名だったのが、令和6年度は、児童生徒10名と、3倍以上になって必要性が高まった中で、A評価ができる対応をすることができたのは、素晴らしいと思いました。私も日本語がほとんど理解できない子どもたちと、2つの学校現場で対応したことがありますが、教育委員会のサポート体制は本当にありがたいので、今後とも対応よろしく願いしたいと思います。

33ページに、施設のバリアフリー化がありますが、令和2年度の阿波市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に実行されて、令和4年から令和6年度には、A評価に、なっています。今後も、改善をよろしく願いします。

お聞きしたいことがあるんですが。

この具体施策の中に、多目的トイレ等の設置があるんですが、この施設の長寿命化計画の中に、和式トイレから洋式トイレへの改修っていうのもあるんでしょうか。

【板東教育総務課長】入っております。

【森委員】わかりました。今後ともよろしく願いいたします。

次に35ページから46ページに、生涯学習関係の事業について、記述があるんですが。すべて、B評価になっていました。特に45ページの、市民参画の推進については、アンケートの結果、16講座で、満足度100%という素晴らしい結果なので、必要性も有効性も高く、これだけ満足されているんだったら、A評価でいいのではないかなと思いました。また、細川先生の方からお話もありましたが、38ページの図書館機能の充実では、評価指標一覧で、図書館利用者数は増加して、目標値に到達していますし、貸出冊数もかなり増加しているので、本当に素晴らしいなあと思いました。

59ページに、文化財ガイドブックの作成の事業があるんですが、総合評価の有効性が昨年度3であったのが、4に上がったのは、このガイドブックについて何か、反響があったんでしょうか。もし、あるんだしたら、教えていただけたらと思います。

【藤原社会教育課長】今年度からになるんですけれども、土成の歴史館につきまして昨年度、大規模改修工事を行いました。それで、中にいろんな文化財関係の、機具とか、三木武夫先生の関係のものとかがあるんですけれども、そちらについて、担当職員が整理等を行って、歴史館の展示の仕方とかも、改めて考えたいなど。その中で、国、県指定の文化財が約80点で、指定文化財もございますので、こちらの方も、案内とか周知、見学ツアーとかできるように歴史館を拠点に何か展開できたらいいなというのは、担当の方も考えております。

【森委員】ありがとうございました。せっかくの文化財なので、地域とか、学校の方からいい反響があったらいいなと思いながら、資料を見せていただきました。63ページ、講演会の実施と事業があるんですが、令和6年度は防犯グッズを配布して、防犯意識や、交通安全意識を高めて、成果を上げたそうなんですが、もし、今後も、講演会を実施しないのであれば、事業名を、講演会等の啓発活動の実施などと変更した方が、いいのではないかなあと思いまし

た。69 ページ、青少年の居場所づくりの推進ですが、先ほど、森本委員さんも言っておられたんですが、令和 6 年の実績状況は、硬式テニス、フットサル、料理教室、フラワーアレンジメントが、令和 5 年度より人数が増えていたと思います。陶芸教室も新設されているのに、なぜ達成度が下がって、休止、廃止を検討するになったのか、疑問に思いましたので、何か理由があるんだったら教えていただけたらと思います。

【藤原社会教育課長】こちらの勤労青少年ホームにつきましては、条例に基づいて設置をしております。それで、この名称の通り、青少年の方がここの施設を利用して、それぞれの会員さんで交流を図ったりとか、その他いろんな、社会生活に必要な技術、知識とかを習得する目的で設置されているのですが、利用者の方がほとんど青少年ではなくて壮年の方で、年齢の高い方が大半を占めているということで、条例の位置付けの中での運営というのは、今後、役目を終わったんじゃないかなということで内部協議がありまして、先月、この勤労青少年ホームの運営委員会がありまして細川先生にも参加していただいたんですけども、その中で、令和 9 年度末解散に向けて、委員さんの中で理解をいただけて進めていただいているところです。それで、もし、このホームが解散しても、硬式テニスやフットサルのチームは、このチームとして活動はできますので、解散するんじゃなくて、公民館とか体育施設を利用していただいて、引き続き活動ができるってということで、これもお伝えしてもらった上で、解散に向けての理解をいただいているところでございます。

【森委員】わかりました。生涯学習のように移行していくってことですね。

【藤原社会教育課長】県内でも、勤労青少年ホームがあるのが、阿波市だけで、美馬市と阿南市にあったんですが、確か平成 27 年か 28 年に国の法律が改正されて、法律上の勤労青少年ホームという位置付けがなくなったので、それを設置するかしないかは、自治体の判断というところになっております。その中で、阿波市としては、活動もあったため引き続き、法律上の位置付けはなくなったんですけども、運営はしていたのですが、社会情勢の変化にあわせて、ホームを解散する方向で進めております。

【森委員】わかりました。ありがとうございました。
最後に、71 ページの子ども会活動の充実なんですが、本当に、団体数が年々

減少して加入人数も減って行って、必要性が減少しているだろうとは思いますが、子ども会を運営する、地域の保護者の皆さんも厳しい状況の中で、子どもたちのために頑張っていると思いますので、引き続き、今後とも支援をお願いしたいと思いました。以上です。

【曾川委員】初めに6年度の報告書を見せていただいて、本当に多くの事業で説明にすぐれた取組の成果が示されているなと思いました。
第2次教育振興計画の5年間の成果、前期5年後の実施の点検評価とうことで、毎年積み重ねてきたPDC Aサイクルによって、そのように改善積み重ねてきた結果ではないかと、関係者の方々が熱心な取組に、敬意を表したいと思います。少し読ましていただいて、気になったこととわからなかったことを、質問させていただきたいと思います。4点ほどあるんですが、1つ目、18ページ、読書活動の推進。ここの総合評価のところで、この4つの事業評価、数字的に、4333となっているんですが、上の評価で見たら、達成度は十分できているので、これって4じゃないんでしょうかと。思ったのですが。

【井内学校教育課長】すいません。ここは、エクセルのファイルが壊れておりまして、確認したところ目標の達成度3ということで、できてるのところに実際丸がつくべきところだったんです。

【曾川委員】チェックが3のとこだったんですね。

【井内学校教育課長】昨年と同様で、できているということで総合評価としてはBのままということをお願いします。

【曾川委員】はい。わかりました。先ほど、森本委員さんが申し上げた読書活動についてすごく充実してきているんじゃないかなと思うので、Aでもいいんじゃないかというふうに思ったところがあります。タブレットを活用して家庭でも音読活動を進めるんだってということが、内容的なこと書かれていたもので、音読ってすごく大事なんですね。声に出して文字を読むという部分が。そういうことを取り入れているっていうところから、非常に、子どもたちはその読書の文字や言葉に親しむって意味ではすごくいいんじゃないかなと。今後そこが書く活動っていいですか、タブレットでするって言ったら全部できてしまうんじゃないかと、書いていく活動っていうふうに繋がっていったら、いいかなと、感想として思いました。基本的なことをお聞きしたいんですがこの4つの総合評価の指標で、この業務例えば4333だと、総合評価っていう。これで

4が2つあれば、Aになっているのかなという理解でよろしいですかね。

【高田教育長】事業評価を選ぶと自動的に総合評価が出るようになっていま
す。事前にお伝えすべきであったと思います。申し訳ありません。

【曾川委員】2つ目の質問なんですけど、19ページ、就学援助の実施について。
具体施策の中で、年度途中の申請については、随時受け付けて翌月認定と書か
れてあったのですが、昨年度は書かれてなかったの、新しくできたものなの
か、それとも前回書かれてなかったのかお聞かせください。

【井内学校教育課長】毎月1回定例会で人数を報告させていただいているんで
すけど、年度途中については随時受け付けについては、変わっておりません。
書いてなかったの今回追加させていただきました。

【曾川委員】はい。ありがとうございました。
あと、3つ目ですが、44ページ、学習成果の発表機会の充実について。
事業実績状況が、実績なしとなっていて、事業評価でもできていないとなっ
ていて、総合評価の達成度が1で優れた取組がいくつかあり、成果が上がってい
るという説明がついているのですが、それでいいのでしょうか。

【藤原社会教育課長】こちらについてはコロナ前までは、子ども茶道教室があ
りまして、そちらの参加者が、市の文化祭に参加していたということだったの
ですが、コロナが開けてから実績が出てきていないため、実績なしとしており
ます。先生おっしゃるように、ここらが矛盾していると思いますので、考えたい
と思います。

【曾川委員】数字があるのかなと思ったのですが。それに関連して、37ペー
ジ。学習成果を発揮できる環境づくりのところ、具体施策を見ていたら、ケ
ーブルテレビで放送するとか、広報誌に掲載するとか、割と似ていると思うの
で、2つを分けるのではなくて1つにまとめられるのではないかと思います。
同じような感じで他にも、内容的に題目が違ってらるんだけど、中身的によく似
てるなあという、例えばNO.46と47。文化行事の拡充と市民参画の促進です
が、文化行事を拡充して市民参加を促進していくっていう2つの事業なんです
が、これも、実績や施策、状況などを見ていたらよく似ているなど。NO.47は生
涯学習推進演奏会、大阪桐蔭高等学校の吹奏楽部が参加しましたと書かれてい
て、NO.46には入っていないんですけども。全体としては似てるので、同じような

事業は、まとめられるんじゃないかなというふうに思ったのですが、どうですか。

【藤原社会教育課長】似たような事業が多いと思うので、集約できるものはしていこうと考えたいと思っております。

【曾川委員】前回からも事業数が減っているのですが、まとめて減っていても、それは差し支えないかなと思います。先ほど話題にあがった、N0.61、青少年の居場所づくりの推進で、居場所づくりとして、いろいろやってるけど、参加者が青少年ではなくて壮年になっているということで、廃止していくとありましたけど、これも原則廃止しても青少年が活動できる場は他の事業の中で確保しますよっていう話もあるようですので、そういうふうにまとめていくのがいいのかなと。廃止して全くなくすというわけでないので、検討の余地があると思いました。4つめ、N0.13ですが、学習支援ボランティアに参加して下さっている方の人数が減ってるのかなと、昨年度は登録者が67人と書かれてあったのですが、6年度は、そのデータ数が書かれていなかったのです。

【井内学校教育課長】今年度は記載できておりませんでした、59人となっています。

【曾川委員】はい。わかりました。以上質問したかったところです。質問の中で、意見を言わしていただいたんですが、全体として、いい成果が出てますと最初に言わせていただいたのですが、特に成果が出てるのは、学校教育に対する、学校教育の取組の中で、やはり、保護者の満足度は上がっているなど。特に小学校は目標値に届いてますし、中学校はやや下がっているんだけど昨年度も高かったので、目標値を達成していて、阿波市の教育が地域の保護者さんや子どもたちにとって満足いく取組が全部出されているんだなことが非常によくわかりました。非常に肝いりのICTを活用した事業数も増えていきますし、英語活動も阿波市の肝いりでされていますが、その英語活動にもICTを取り入れて、子どもたちが英語の授業を楽しんでいるという効果も大幅に増えていると思いました。全部そういうことが、実を結んでいる。今後の施策として進めていかれるってということが、ほんとにありがたいことだと思いました。あと、子どもの健やかな体の育成の取組ですが、先ほどから子どもの肥満率が非常に高いというところで要因は様々あると思いますが、昨年度比べたところ、男の子がわずかに改善、下がっているなど。でも逆に女子が肥満度が上がっている。さらに何か取組が必要なかなと思っておりますが、この取組の

具体的な中身をちょっと読ませていただいたら、市内全小中学校で健康診断実施した後に、その結果に基づいた計画を作成して、生活習慣の改善に向けた指導を行っている取組ができるということが、昨年度は書いてなかったもので、そういうきめ細かい指導ができていくということが、わかりました。そのようなことが男子が少しだけ下がった？というのは言いづらいと思いますが、そういう取組は大事だなと思いました。それに関連して、NO.58の正しい生活リズムの定着ってところ。取組は、総合力がB評価で、できているということなので、朝食の摂取状況では、86%から、87.2%に上がってますし、やっぱり、保護者も巻き込んで、正しい生活リズムにより体を育成していくっていう達成がちょっとずつできているのかなと感じました。目標が100となっているので、少しずつでも近づけるように、さらに啓発推進で家庭の協力を得ながら頂上を目指していただけたらと思いました。あと、細川委員さんからお話がありました、中学校の部活動について、指導員を6名増やしたとか、外部コーチの配置は生徒の多様なニーズに添うかたちで、先生だけで対応せず、実力のある方を選んで、教師の働き方改革にも少し繋がっていく部分もあるんじゃないかなと感じたので、その部活動の地域移行の形をちょっと検討していくっていう方針、方法は大切かなと思いました。あとすいません。NO.12のキャリア教育の推進で、仕事の体験を中学生がするっていう活動を取り入れています。中学校生徒が、そこから学んだことを発信しているってところ、すごいなって思いました。実際、体験して仕事の感覚を身につけたり、働くことの意義を感じていくってことが非常に大切なと思って、そういうふうに発信していない学校ももちろん、しっかり実践してくださっていると期待をしておりますので、色々手間、暇かかるんだけどそういう教育にも力を入れていただけたらなと思いました。

色々言わせていただきましたが、学校教育、非常に充実して進めてるなっていうところ、生涯学習の市民のニーズはやっぱり増えているなと、いう部分。参加者のニーズを探りながら、魅力的な講座が展開されているからだなというふうに思いました。そういう様々な講座がどんどん開かれて市民が参加することによって生活や豊かさがいろいろ広がるんじゃないかなと思いました。今後さらに重点化させますって言って2つのこととしては、教職員の資質向上、特にICT活用で授業を高める。もう1つはNO.20の学校の安心安全、命を守るってところをさらに充実させるということで、非常にとても大事な項目でさらに重点化して、進めていただきたいと思います。いろいろ申しましたが、今後ともこのような施策を継続的に進めていただき、阿波市の目指す教育方針が、目標達成されていくように、期待したいと思います。以上です。

【吉原委員】初めてこの報告書を見せていただきました。

令和3年度に策定された第2次教育振興計画に基づいて作成された68事業について、学識経験者の方からご意見をいただいているように、具体的な数値やアンケート結果をもとに、丁寧に評価と検証に取り組みられた結果、ここに新たな課題を明確にしてきた上で、改善に向けた方策を示されていて、阿波市の教育活動が充実していると感じました。これまで委員さんが言われてきたことと重なることもあります、その中で1点質問があります。14ページです。働き方改革の推進の中に、業務の適正化とありました。教職員の働き方改革の一環として、国の方から進められている教員業務支援ですね、スクールサポートスタッフの阿波市での配置状況や、実際に配置することで、教職員の負担軽減に十分繋がっているのかをお聞きしたいです。

【井内学校教育課長】令和6年度のスクールサポートスタッフの配置状況は、令和6年度は9名、一条小学校、柿原小学校、御所小学校、土成小学校、市場小学校、大俣小学校、久勝小学校、伊沢小学校、林小学校の9名配置しております。

【吉原委員】ありがとうございます。阿波市の教員業務支援規則とかは、教育委員会であるのですか。

【井内学校教育課長】市の教員業務支援員設置要綱で、時間数や報酬額を定め、県の補助金の交付要綱に基づき、補助金をいただいております。

【吉原委員】そうですか。わかりました。支援員もこのように9名活動して、成果の方はどうですかね。

【三宅教育次長】学校長から、非常に助かっているということを聞いております。今年度も引き続き、スクールサポートスタッフを継続的に配置しています。今年は10校でスタートしましたが、1人やめられて、現在は9名です。

【吉原委員】支援員を活用して、成果を得ているのであれば、この教育業務支援をこの働き方改革の推進の中に、追記するっていうのはどうでしょうか。また、検討をお願いいたします。こうして教員の環境を整備していただくことで、先生が子どもと接する時間が確保できたり、教員間のコミュニケ

ーションの時間も確保できると思います。そして質の高い教育を提供することに繋がっていくと期待しております。

2点目からは、私の感想になりますが、35ページからの、社会教育と生涯学習について。森本委員さんや曾川委員さんも言っておられましたが、限られた予算の中で、市民のニーズにこたえるために、バラエティに富んだ講座の企画や文化協会と連携し合って、生涯学習の充実に努めていると感じました。その結果、後ろの業績評価一覧の講座数の目標値の25%に達し、市民のアンケート結果では19講座のうち、16講座で満足度が100%を占め、参加者はほとんど満足している状態であると思いました。またそれぞれの、地域の特色を生かした公民館での生涯学習講座や、個人の興味関心に合わせたサークル活動も活発に行われています。今後は、情報の提供の仕方や学習成果発表の場を提供するなど、そこを考慮していただいて、1人でも多くの地域住民が参加できて、学ぶ楽しさというものを知るきっかけとなってほしいと願っています。3点目は、47ページからのスポーツ振興についてですが、阿波シティマラソンや阿波市独自のスポーツフェスティバルに合わせて、各種の集会や高齢者教室、放課後児童クラブと子どもから高齢者まで、対象を広げ

て、スポーツの推進員を派遣して、気軽にスポーツに親しめる環境を提供していると聞きました。今後も情報を発信して、1人でも多くの方が参加できて、スポーツに親しむ楽しさを知って継続することで、心身が健康になって、一人一人の絆がより広がっていくことを希望します。

最後になりましたが、私も以前、学校教育、社会教育に携わるお仕事をさせていただいておりました。学校教育と社会教育は、車の車輪のように連携してなくてはならないものであって、また、それぞれ異なる役割と目的を持っているけれど、繋がった一本の木であるなあと考えておりました。

学校教育は、皆さんもご存じのように、根や幹のようにしっかりと基礎を築き、社会教育は、枝や葉のように、多様な学びの機会を提供して個人の成長を支えています。そしてその成長した木が、社会全体や、阿波市全体を豊かにしていくと、こういうイメージです。まさにこの報告書を見たとき、自分が出会った子どもたちや、地域の方々の生き生きとした顔が浮かんで来るようでした。こうして阿波市の教育行政は、阿波市民一人一人が豊かな生活を送るための基盤を築く上で、重要な役割を担っていると改めて感じました。教育委員会の皆様の真摯な取組で成果が上がっていると感じました。今後も、すばらしい取組が一層増えていって欲しいと期待しております。

【高田教育長】ありがとうございました。

本当に資料としては、かなりの分量のところ、丁寧に見ていただきまして、またご意見、ご指導いただきまして、本当にありがとうございました。ちょっとだけお話をさせてください。学校の先生の働き方改革が今すごく話題になっていますので、我々も進めていかないと行けないと思っています。中にはかなりしんどい先生もおります。部活動が原因っていうのは中学校は大きいところがあります。委員さんからのお話がありましたように、スクールサポートスタッフ。これは、国、県の事業です。それと学びサポーター。若手サポーターは県の事業、この学びサポーターは市からの持ち出しもいります。でも、学校教育課では、すべて予算取りをさせていただいて、学校の希望通り配置したいということで、昨年も今年も対応しています。ただ、人がいないんです。だから手を上げて、学校で探さないといけないんです。もちろん我々も相談しながら探してはいるんですけど、苦慮しています。担当も含めて、精一杯、尽力してくれております。それと、ご承知の通り、阿波市は市費でICT支援員を中学校区で配置しています。市費で配置しているのは、阿波市だけだと思います。大きな町でも、配置してないところがあります。それと、英語講師も平成17年からやってますし、学力向上推進講師は小学校に1名配置しています。こういうところは阿波市は手厚いと思います。今のところ、教育委員さんのお力をいただきながら、おそらくしばらくの間は、こういった配置ができるのではと思っています。本当にありがとうございます。それとたくさんご意見いただきました。本当に、評価が低いんじゃないかというご意見をいただいたんですが、それにつきましては教育委員会の方にお任せいただいて、再度見直しをして上げるようにしてよろしいでしょうか。

【教育委員】はい。

【高田教育長】下げることはいたしません。それと、このシートですが、曾川委員さんから言われましたように、中身が重なっているところがまだまだあると思います。かなり見直しました。今年、来年がちょうど良いタイミングだと思っています。今は市の総合計画も出来ていますし、教育委員会では振興計画を今年度策定する時期ですので、ちょうど来年度から後期計画が始まりますから、その期間にもう少しシートを見直して、わかりやすくしていきたいと思います。それと、森本委員さんからも質疑ありましたように、人数ですね。延べ人数なのか、それとも、その1講座の人数なのか。見ていてもわかりにくいところがあるので、そのあたりもきちん

と、わかるように、表記の工夫をして参りたいと思っております。本当にありがとうございました。お世話になりました。

【高田教育長】よろしいですか。

それでは、議案第1号については承認いたします。

議案第2号 「阿波市地域クラブ活動指導者に関する要綱の制定について」

【高田教育長】議案第2号 「阿波市地域クラブ活動指導者に関する要綱の制定について」事務局より説明をお願いいたします。

【井内学校教育課長】阿波市地域クラブ活動指導者に関する要綱の制定について説明。

【高田教育長】ただいまの議案第2号についてご質問等ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】それでは議案第2号について、承認いたします。

議案第3号 「阿波市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱の改正について」

【高田教育長】議案第3号 「阿波市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱の改正について」事務局より説明をお願いいたします。

【井内学校教育課長】阿波市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱の改正について説明。

【高田教育長】ただいまの議案第3号についてご質問等ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】それでは議案第3号について、承認いたします。

議案第4号 「令和7年度阿波市一般会計補正予算（第5号）教育委員会所管部分について」

議案第5号 「準要保護の認定について」

【高田教育長】次に、議案第4号につきましては、令和7年第3回阿波市議会定例会に提案予定の案件となります。また、議案第5号につきましては、個人情報が含まれる内容となりますので、会議規則第17条の規定により秘密会とし、非公開としてよろしいか。

【各委員】異議なし。

【高田教育長】異議なしと認め、議案第4号及び議案第5号については秘密会とし、非公

開といたします。

〈秘密会〉

【高田教育長】秘密会を終了します。

その他

【板東教育次長】施設整備計画に基づく事業の報告について

文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用する場合、該当する施設整備事業の目的を掲げた施設整備計画を作成することとなっており、令和6年度に当該交付金を活用した事業があったため、その事業完了及び計画目的達成の報告を改めてさせていただきます。

対象事業は、「令和5年度（繰越）学校施設環境改善交付金事業」「御所小学校多目的トイレ整備事業」です。この計画の目的は、御所小学校校舎に多目的トイレ棟を増築し、配慮は必要な児童が安心して利用できるようバリアフリー化を推進し、教育環境の質的向上を目的としておりました。工事内容としては、木造平屋のトイレ棟を増築し、内部に多目的トイレ室・脱衣室・シャワー室を新たに整備いたしました。多目的トイレ室には、オストメイト対応設備も整備しており、車いす利用者へ身体の不自由な方など、多様な人が利用できる設備を完備しております。工事期間については、令和6年6月5日に着手し、11月12日に引き渡し検査を完了しました。現に御所小学校では、排泄にサポートが必要な児童が在籍していることから、障がい者の特性に応じた教育環境の整備を推進することができ、本計画の目的が達成できたと考えております。引き続き、学校施設に求められる機能・性能を確保するために、学校施設の現状や教育内容の適応状況を正確に把握し、「安心・安全な教育環境」の整備に取り組んで参りたいと考えております。以上、報告とさせていただきます。

【高田教育長】ただ今の件について、何か質問はございませんか。

〈質 疑〉

なし。

【高田教育長】ほかに何かございませんか。

【藤原社会教育課長】社会教育課から報告させていただきます。阿波市立図書館の指定管理者の選定について、報告させていただきます。令和8年3月31日の指定期間、5年間なんですけど、指定期間終了に伴いまして引き続き図書館等の管理運営を効率的かつ効果的に行うとともに良い利用者サービスを提供するため、阿波市立図書館等指定管理者の公募を行います。選定方法は、公募で、9月中旬から現在行う予定となっております。申請書の受付簿について

は、11月上旬を予定に審査を行いまして、審査の結果を受けて12月の定例議会で指定の議決をいただくための議案を提出する予定です。指定管理期間につきましては、現行と同じ5年間で令和8年4月1日から令和13年3月31日までとなっております。指定管理料については、募集をかけるにあたりまして設定しております上限額が現行の年額9,159万1千円から約1千400万円増の1億600万にする予定です。指定管理料の増額の主な要因につきましては、人件費で前回より約1.5倍増えています。現在、指定管理料に含まれております電気代につきましては、国の補助金などにより電気代の変動が大きいことから、次回からは指定管理料に含まず直接市側で支払うこととしております。なお、次回更新から現在小学校だけで行っております、学校図書館支援業務、こちらの内容につきましては、小学校の図書室の書架の整理や本の修理、また学校独自で行っております企画展示のお手伝いなどとなっております。こちらの支援業務を中学校においても学校からの要望、必要に応じて実施する事としております。以上で阿波市立図書館等指定管理者選定についての説明とさせていただきます。以上です。

【高田教育長】ただ今の件について、何か質問はございませんか。

〈質 疑〉

なし。

【高田教育長】以上をもちまして、令和7年度第5回阿波市教育委員会定例会を閉会いたします。長時間にありがとうございました。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和7年8月22日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐